

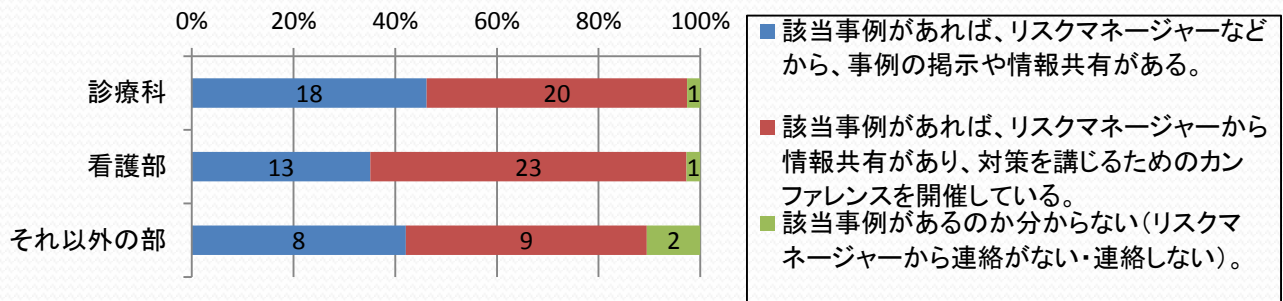
## 京大病院医療安全情報77

### 【確認不足によるエラーに対するアンケート結果】

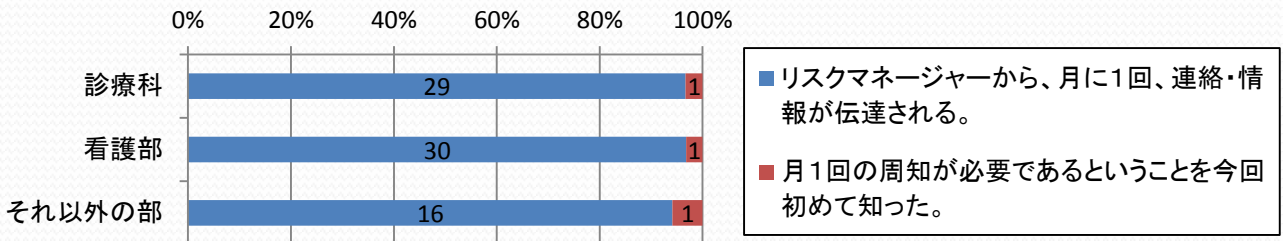
今年度に入ってから、「患者誤認」・「部位誤認」などの誤認エラーのインシデント報告が増えました。そこで、2015年7～8月 各診療科・部・部署長に対するアンケート調査を実施しました。

結果は、診療科(医師)、看護部(看護師)、それ以外の部(その他職種)に分類

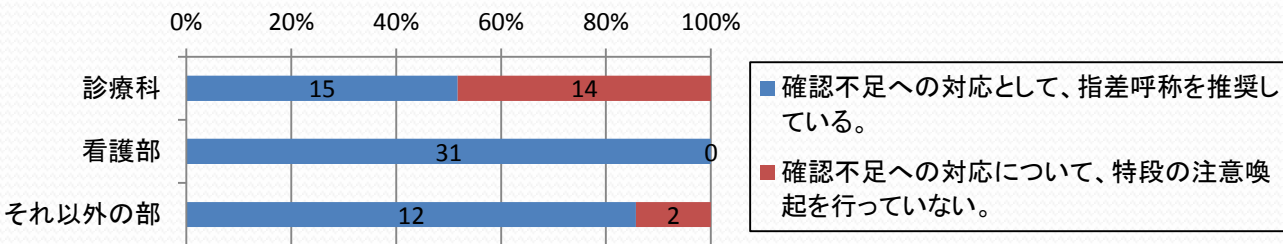
#### 1. 確認不足のエラー発生後の対応



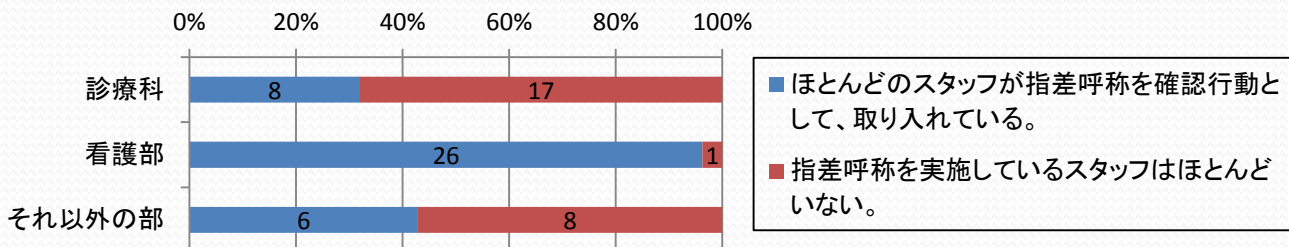
#### 2. 医療安全に関する「周知依頼事項」について



#### 3. 指差呼称について（推奨の有無）



#### 4. 指差呼称について（実施の有無）

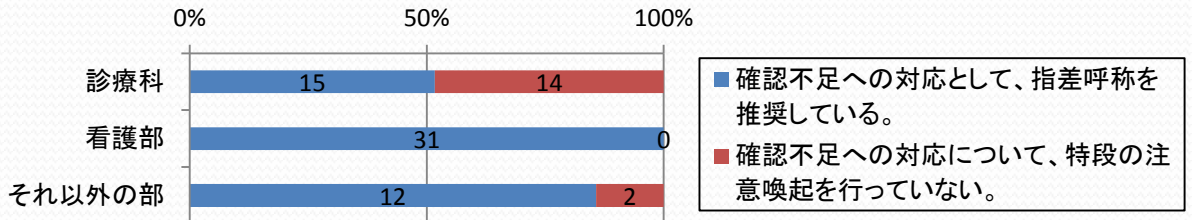


# 京大病院でのアンケート結果から学ぶことは・・・

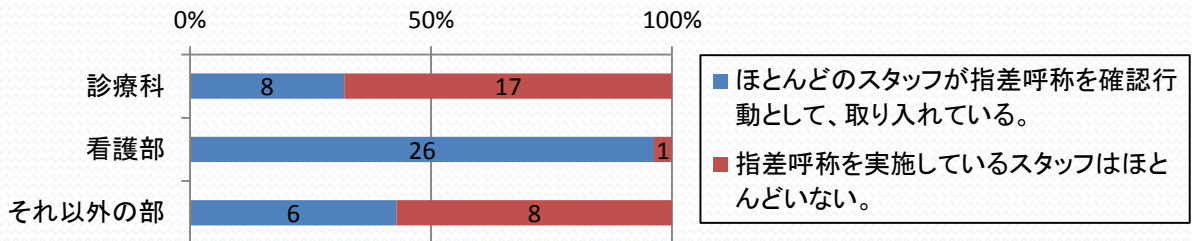
## 京大病院医療安全情報77

### 【「知っていること」と「できること」は違う】 まだまだ改善の余地がありそう・・・

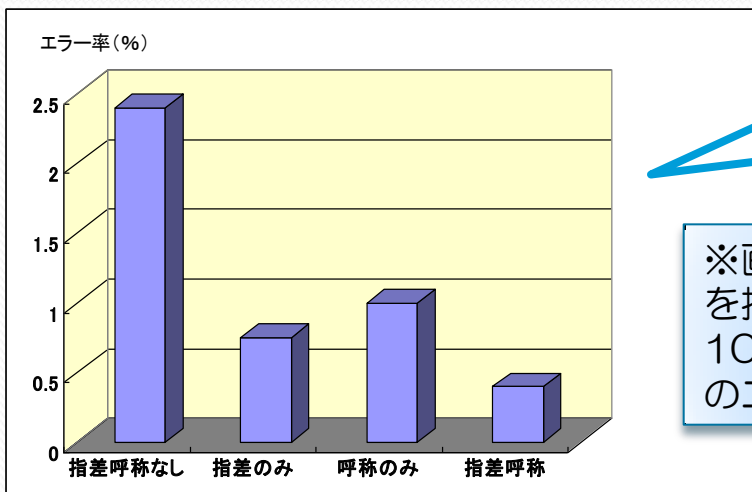
指差呼称を知っていて、推奨しているけど・・・



実際にはできていないようだ・・・



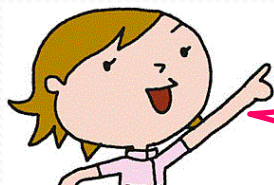
## 指差呼称の有効性にはエビデンスがあります！



指差して、声に出すことで意識を集中させることができる

※画面表示に応じたボタンを押す作業を一人当たり100回×4種類行ったときのエラー発生率

図 指差呼称のエラー防止効果の室内実験による検証（芳賀1996）



患者氏名、ヨシ！

確認行動

コミュニケーション

H27年度 重点項目

医療安全管理室作成